

東京大学大学院情報理工学系研究科
知的情報処理英語プログラム

別表

1. 授業科目

科目種別	授業科目名等	単位数	履修方法	備考
A (共通)	工学系・情報理工学系研究科日本語教育部会による講義※	1～10		留学生のみ 2 単位以上必修 (日本人は国際交流実績ポイント)
	研究倫理	0.5	必修	各自の専攻・課程に対応するもの
	コンピュータ科学修士輪講Ⅰ・Ⅱ コンピュータ科学修士特別研究Ⅰ・Ⅱ 実践英語対話表現演習 又は 数理情報学輪講Ⅰ・Ⅱ 数理情報学修士特別研究Ⅰ・Ⅱ 又は システム情報学輪講Ⅰ・Ⅱ システム情報学修士特別研究Ⅰ・Ⅱ 又は 電子情報学修士輪講Ⅰ・Ⅱ 電子情報学修士特別研究Ⅰ・Ⅱ 又は 知能機械情報学修士輪講Ⅰ・Ⅱ 知能機械情報学修士特別研究Ⅰ・Ⅱ 又は 創造情報学修士輪講 創造情報学修士演習 創造情報学プロジェクト実践修士研究 実践英語演習 又は コンピュータ科学博士輪講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ コンピュータ科学博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 又は 数理情報学博士輪講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 数理情報学博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 又は システム情報学博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 又は 電子情報学博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 又は 知能機械情報学博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 又は 創造情報学博士輪講 創造情報学プロジェクト実践博士研究 実践英語特別演習	各 1 各 6 1 各 2 各 6 各 2 各 6 各 2 各 5 各 2 各 6 2 2 10 1 各 2 各 4 各 1 各 4 各 4 各 4 各 4 2 12 1		

B (基盤)	論文構成法 脳科学特論Ⅰ 脳科学特論Ⅱ 知能機械情報学特別講義Ⅱ 知能機械情報学特別演習 GCL 情報理工学特別講義Ⅴ (機械学習手順技法)	2 2 2 2 2 2	選択必修 (修士)	修士は B～D から 12 単位 以上
C (コア)	自然言語処理システム論 量子計算論 近似・オンラインアルゴリズムとその応用 情報セキュリティのためのアルゴリズム リモートセンシング画像解析 コンピュータ科学特別講義Ⅲ (Efficient Search Methods in Artificial Intelligence) 数理構造論 数理情報学特別講義Ⅱ (ネットワークマイニングとその応用) 自然言語処理 物理ベース・アニメーション論 情報理工学英語特別講義Ⅳ (Probabilistic Generative Models Applied to Musical Audio Data) 情報理工学英語特別講義Ⅵ (Advanced Data Structures)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	選択必修	修士が C から 6 単位以上、 博士が C～D から 2 単位以 上
D (発展)	計算科学アライアンス特別講義Ⅰ 計算科学アライアンス特別講義Ⅱ 情報理工学英語特別講義Ⅱ (オンライン国際研究インターンシップ) 情報理工学英語特別講義Ⅲ (JFLI インターンシップ)	2 2 2 2	選択必修 (修士)	修士は B～D から合計 12 単位以上

なお、B, C, D の科目は情報理工学系研究科の講義リストにあわせて更新されるので、ホームページで常に最新の情報を確認すること。

*2023 年度開講の日本語教室講義リスト：

<https://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/ja/programs/about/overview/>

2. 国際交流実績ポイント

留学生の日本語講義に代わり、日本人学生は国際交流実績ポイントが必要である。

・海外派遣・学会参加等

海外滞在宿泊日数（機中泊を含まない）1泊につき1ポイント。ただし用務のない日（前後泊や、研究室滞在での土日など）はポイントに含まない。

E-ticket のコピー、および、用務内容が分かる書類（学会ウェブページ、訪問先からのメール、等）を電子メールで情報理工学系研究科国際交流室に送付すること。

海外で行われた国際会議での口頭発表は2ポイントを追加する。学会プログラムを添付のこと。ただし、ポスター発表や展示は含まない。

・研究科主催の留学生交流行事参加

参加1回につき1ポイント。

行事参加の当日、所定の用紙を用いて、情報理工学国際センター教員または情報理工学系研究科国際交流室事務員からサインを得た上で、情報理工学系研究科国際交流室に提出すること。